



平成 29 年 5 月 24 日
午前・午後 9 時 57 分 受領

平成 29 年 5 月 23 日

南山城村議会議員 廣尾正男 様

南山城村議会議員 徳谷契次



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 教育環境における設備の充実について	和束町立和束小学校では29年度より教育環境の整備として、空調設備（エアコン）工事が始まると聞いている。	村長
	本村の南山城小学校においては、予てより窓が大きく陽が当たり想像以上に夏は暑く、そして、その暑さで児童の落ち着きがなくなり集中力も欠け、立ち歩きが増えるとも聞く。	
	他の市町も小学校の「空調設備」を進めており、村としても児童には同等の環境水準を提供するべきであると考えている。	
	小学校における空調設備（エアコン）の実施についてはどのように計画しているのか、質問致します。	
2 共生ビジョンについて	伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョンの中間案に対する南山城村に居住の方のパブリックコメントは12項目に亘って意見を寄せられており、関心の深さが伺われ、意見を出されておられない方も今後の各事業の進展を期待されていると思われま	村長
	す。伊賀市の方で、『島ヶ原中学の生徒は上野高校以外の普通科の選択肢がなく、木津高校に進学したいので検討して下さい』の意見がある。名張高校の普通科もあるが、「遠い。乗り継ぎが大変。定期代が高い。」などで、名張高校に入学するのは困難な事情がある。意見に対する懇談会の回答は、伊賀・笠置・当村の3市町村の圏域外の木津川市であることから、「圏域外の通学」は共生ビジョンには追記しないことで一致をしている。	
	しかしながら、一方、伊賀市の教育部局はJR沿線等の中学生	

	を木津高校普通科の進学について、既に三重県との事前協議に入った様子である。	
	共生ビジョンに明記された「高校の通学範囲の拡大要望」について、強い関心と将来の希望を持たれた保護者の方は村内で少ない。	
	「高校の通学範囲の拡大要望」は何年度よりの中学卒業生を対象と捉えているのか、そのことを保護者にどのように伝え、進めようとしているのかについて、質問致します。	
3 子育て支援について	本村は他町に比べいち早く中学生までの「医療費負担ゼロ円」の取り組みを行っている。	村長
	データによると、上野市民病院と岡波総合病院への南山城村よりの外来延患者数合計1527人、入院延患者数合計1267人（いずれも27年度）であり、伊賀市の受け入れ患者が多いことを示している。	
	共生ビジョンの開始に併せ、伊賀市医療機関における中学生以下の「窓口ゼロ円」を出来ないのか、質問致します。	